

## 角館のお祭りを終えて

平成29年度の角館祭りのやま行事が無事終わりました。

7日(木)、角館總鎮守神明社の例祭「宵宮祭」にご招待いただき、齋行に参列させていただきました。奉納される舞の意味を戸澤宮司さんから教えていただいたり、江戸時代から受けつがれている絵馬を見せていただいたりして、歴史と文化の根付く角館の素晴らしさをあらためて感じました。

各丁内の曳山は、整然とした運航の中にも、角館のお祭りの特徴である激しさも見せ、生徒は地域の一員として、これを支え、楽しんだようです。

生徒は、私の姿を見ると「校長先生、今晚は！」と遠くからでも、声をかけてくれました。どの顔も、生き生きと輝いて見えました。

また、いくつかの丁内の方から「中学生が、本当によくがんばってくれている。丁内の一員として、なくてはならない存在だ」という声を聞きました。実際に、ほうきとちり取りをもって、大人が捨てたばかりの吸い殻やゴミを一生懸命片付けている姿や、空き缶や燃えるゴミの分別と処理を真剣にやっている姿も多く見られました。

こういうことを経験して、やがては、曳山運行の中心的存在になっていくのでしょうか。その姿が頼もしく見えました。

お祭り期間中、夜8時からの巡回と激励の声かけに協力していただいたPTA校外指導部の皆様をはじめ、各丁内、関係機関の皆様、ありがとうございました。おかげさまで、生徒は事故無く、楽しくお祭りに参加できたようです。重ねて御礼申し上げます。

## 弾道ミサイル発射時の避難行動について

仙北市教育委員会教育長から、昨今の情勢を踏まえて、弾道ミサイル発射時の避難行動について、文書による通知がありました。

この通知は、内閣官房参事官から出されたものが県教委を経由して届いたものです。概要をお知らせします。

### ■一般市民向けの内容

#### 1 弾道ミサイル落下時の行動について

##### (1)屋外にいる場合

- ・近くのできるだけ頑丈な建物や地下街などに避難する。
- ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。

##### (2)屋内にいる場合

できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

#### 2 弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A(一部の抜粋)

Q1：ミサイルは発射から何分ぐらいで日本に飛んでくるのでしょうか。

A1：北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、日本に飛来する場合、極めて短時間で日本に飛来することが予想されます。例えば平成28年2月7日に北朝鮮西岸のトンチャンリ付近から発射された弾道ミサイルは、約10分後に、発射場所から約1,600km離れた沖縄先島諸島上空を通過しています。

Q2：なぜ、頑丈な建物や地下へ避難するのですか。

A2：ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるため屋内(できれば頑丈な建物)や地下、への避難が有効だからです。

Q3：自宅(木造住宅)にいる場合はどうしたらよいのでしょうか。

A3：すぐに避難できるところに頑丈な建物や地下があれば、直ちにそちらに避難してください。それができない場合は、できるだけ窓から離れ、

できれば窓のない部屋へ移動してください。

Q4：建物内に避難してから気を付けることはありますか。

A4：爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないよう、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

Q5：弾道ミサイルの情報が伝達されたとき、自動車の車内にいる場合はどうすればよいですか。

A5：燃料のガソリンに引火する恐れがあります。頑丈な建物や地下に避難してください。周囲に避難できる施設がない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守ってください。

Q6：車から出ると危険な場合はどうしたらよいですか。

A6：高速道路を通行している時など車から出ると危険な場合には、車を安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして、行政からの指示があるまで待機してください。

Q7：ミサイルが着弾した後は何をすればよいですか。

A7：弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なります。そのため、テレビ、ラジオ、インターネットなどを通じて情報収集に努めてください。また、行政からの指示があれば、それに従って、落ち着いて行動してください。

Q8：近くにミサイルが着弾した時はどうすればよいですか。

A8：弾頭の種類に応じて被害の及ぶ範囲などが異なりますが、次のよう

- ・屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難してください。
- ・屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉してください。

※消防庁国民保護・防災部防災課国民保護室長の通知文より転載

## ■各学校あての内容

(生徒への指導内容)

### 弾道ミサイル発射時の避難行動について

#### 1 発射直後の避難行動

(1)校舎外における教育活動中

校舎外での活動時は、ミサイル

着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるため、すぐに校舎内や屋内（できれば頑丈な建物）に避難してください。また、屋内への避難が難しい場合は、物陰に身を隠すか、地面の窪地等も利用し、地面に伏せ、頭部を守るようにしてください。

(2)校舎内における教育活動中

校舎内での活動時は、爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないよう、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。その際、両側に窓が存在する場合は、窓から離れた中央部に避難し、窓より身を低くして、机などを活用した遮蔽物しゃへいぶつを設置するなど、爆風によって飛散したガラスの被害を防ぐ手段を講じてください。

(3)校外における活動中

屋外にいる場合は、近くのできるだけ頑丈な建物や地下に避難してください。

避難が難しい場合は、「(1)校舎外における教育活動中」と同様の避難行動をとってください。

屋内に避難した場合は、「(2)校舎内における教育活動中」と同様の避難行動をとってください。

#### 2 近くにミサイルが着弾した直後の避難行動

屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチ等で覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋又は風上に避難してください。

屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉してください。

#### 3 ミサイル着弾後の避難行動

弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるので、テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて情報収集に努めてください。また、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動してください。

※秋田県教育委員会より

以上の点については、各学級で生徒に指導をいたしました。この学校報をもとに、ご家庭でも緊急時の行動についてご確認ください。